

同志社女子大学創立125周年

新制大学設置50周年記念事業

シンポジウム

「転換期の若者のゆくえ・出会いのかたち —ケータイ文化のなかの喪失と再生の可能性—」

6月9日、今出川キャンパス栄光館で、ジャーナリストの江川紹子氏、大阪府立大学教授の森岡正博氏を招き、創立125周年記念のシンポジウムを開催した。
(70ページに関連記事)



パネル展

「新島襄と同志社女子大学」開催

8月4日～10日、大阪のMBSギャラリーで、創立者新島襄と同志社女子大学の歴史、現況を中心に写真で紹介するパネル展を開催。期間中、卒業生を始め約550人の来場があり、盛況であった。



緒方貞子 前国連難民高等弁務官に 名誉博士の学位を贈呈



4月20日、同志社大学は、国連難民高等弁務官として10年にわたり、世界各地での難民支援と援助のために豊かな経験と卓越した指導力を発揮した緒方貞子氏に対し、名誉文化博士学位を贈呈した。(記念講演会を32ページに収録)

中野譜庫のマンドリン楽譜

マンドリン・ギター界の第一人者であり、同志社大学マンドリンクラブで指導していた故中野二郎氏。氏が所有していた、貴重な楽譜など約18,000点を、同志社大学の今出川図書館で所蔵している。世界有数のコレクションの散逸を恐れた中野氏が、生前寄贈したもの。(28ページに関連記事)



フレッシュマンキャンプ開催

4月28日～29日、同志社大学の新生が、同級生、上級生、教職員とのふれあいを通して、大学生活を有意義に送るきっかけにしておこうというねらいで初めて企画されたフレッシュマンキャンプが、同志社びわこリトリートセンターで開催された。参加者はスタッフあわせて123人。

初日に行われたオリエンテーリングでは、グループごとに、万歩計の歩数合計や、口にくわえた割り箸で輪ゴムをリレーするなどして競った。これらの企画を通して学生、教職員同士の親交を深めていた。

